



5 1次評価(Check①&Action①)

|               | 施策指標名  | 単位 | 基準値/基準年度 |  | 目標値   |       | 実績値   |   |       |       |
|---------------|--|----|----------|--|-------|-------|-------|---|-------|-------|
|               |  |    |          |  | H32年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度   | H31年度 | H32年度 |
| 定量的評価         | 若い世代が暮らしやすいまちと思う若い世代の割合  | %  | 64.6     | (H26)  | 72.7  | 72.7  |       |   |       |       |
|               | 快適に暮らせる住環境が整っていると思う若い世代の割合   | %  | -        | -  | 64.0  | 57.6  |       |   |       |       |
|               | 親子で外出しやすい環境が整っていると思う若い世代の割合  | %  | -        | -  | 61.0  | 51.7  |       |   |       |       |
|               | 白井のみどりの環境に満足する若い世代の割合  | %  | -        | -  | 72.8  | 72.8  |       |   |       |       |
|               | 白井の文化資源に満足する若い世代の割合  | %  | -        | -  | 62.0  | 54.6  |       |   |       |       |
| 定性的評価         | 白井でのゆとりある暮らしに対する満足度を上げていくには時間を要することから、中長期的な視点が求められるが、H28年度は、若い世代の暮らしを支える親元同居近居支援補助金などの制度を着実に立ち上げるとともに、ゆとりある住環境（都市マスタープランに基づく土地利用）を進めるための地区計画の運用基準を策定するなど、今後の取り組みの基盤を築くことができた。  |    |          |  |       |       | 進捗状況  | <input type="checkbox"/> 順調<br><input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調<br><input type="checkbox"/> やや遅れている<br><input type="checkbox"/> 遅れている |       |       |
| 課題            | 喫緊の課題  |    |          | 中長期的な課題  |       |       |       |   |       |       |
|               | 特に未就学児など小さな子どもがいる世帯は、公園の多さや歩道が広く子どもと歩きやすい環境を重視する傾向にあるため、公園や道路等の既存ストックについて、費用対効果を勘案しながら、それを将来にわたって維持し、機能の向上を図る必要がある。  |    |          | 公園や道路の整備には、多額の費用がかかる。また、魅力ある住環境を形成・維持し、まちの魅力を高めていくためには、地域住民自身が身近な住環境に関する意識を高め、必要なルールづくりを進めていける環境をつくっていくことが必要である。                   |       |       |       |   |       |       |
| 施策の方向性(改善策)   | 短期的な方向性  |    |          | 中長期的な方向性   |       |       |       |   |       |       |
|               | 公共施設等総合管理計画との整合を図りながら、長寿命化計画の策定に取り組む。<br>また、歩道のバリアフリー化（歩道段差・勾配改良等）の重点整備箇所を整理し、優先順位を持って整備を進める。  |    |          | 公園や道路の利用状況や各拠点の都市機能、地域の人口構成などを踏まえ、地域の特性に応じた公園や道路の整備を進める。<br>市民自らが地域のルールづくりを進めていけるよう、地区計画等の制度を分かりやすく周知し、市民や事業者などの地域住民の参画を促す環境整備を行う。 |       |       |       |   |       |       |
| 施策を取り巻く環境の変化  | 平成18年の住生活基本法施行により、住宅の量の確保から質の向上へと国の政策が転換され、現在、住宅ストックを有効活用した居住環境の維持・向上が求められている。   |    |          |  |       |       |       |   |       |       |
| 市民と行政の役割分担・協働 | <input type="checkbox"/> 行政の役割を拡大 <input type="checkbox"/> 現在の行政と市民の役割分担・協働を維持 <input checked="" type="checkbox"/> 市民の役割・協働を拡大   |    |          |  |       |       |       |   |       |       |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>住環境や都市機能向上を目指して、公園や道路などの整備は行政が中心となって行うものだが、他の都市整備や地域のルール作り、施設の運営や維持管理などは、民間活力の活用や地域住民が主体となった取り組みが必要である。</li> <li>行政が環境保全や文化振興を図る市民団体等と協働で、白井のみどりや文化資源の魅力に触れ合える機会を創出していくが、将来的には市民自ら、あるいは市民団体等が担っていきることが必要である。</li> </ul> |    |          |  |       |       |       |   |       |       |

6 2次評価(Check②&Action②) 白井市行政評価委員会による評価

|       |  |
|-------|--|
| 改善意見等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のルールづくりに当たっては、若い世代から高齢者まで多様な世代が参画できるよう努めること。</li> <li>道路や公園等については、安全性を最優先して整備を進めること。また、事業費が多額となることから、必要性や財政面を考慮し、事業費の平準化を図りながら、計画的な整備に努めること。</li> </ul> |
|-------|--|

7 3次評価(Check③&Action③) 総合計画審議会による評価

|       |  |
|-------|--|
| 改善意見等 |  |
|-------|--|

8 2次・3次評価における意見等への対応方針

|      |  |
|------|--|
| 対応方針 |  |
|------|--|